



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年7月8日（金）No 13発行
文責：松本 卓也

確かな学力の育成に向けて ～家庭学習のススメ～

5月に i-Check（総合質問紙調査）を実施しました。i-Check とは、学級や生徒一人一人の実態を具体的に把握するための調査で、自尊感情（自分を大切に思っているか）や人間関係、悩み等を把握することで、生徒をより深く理解したり、学級経営の改善に生かしたりするために活用されます。

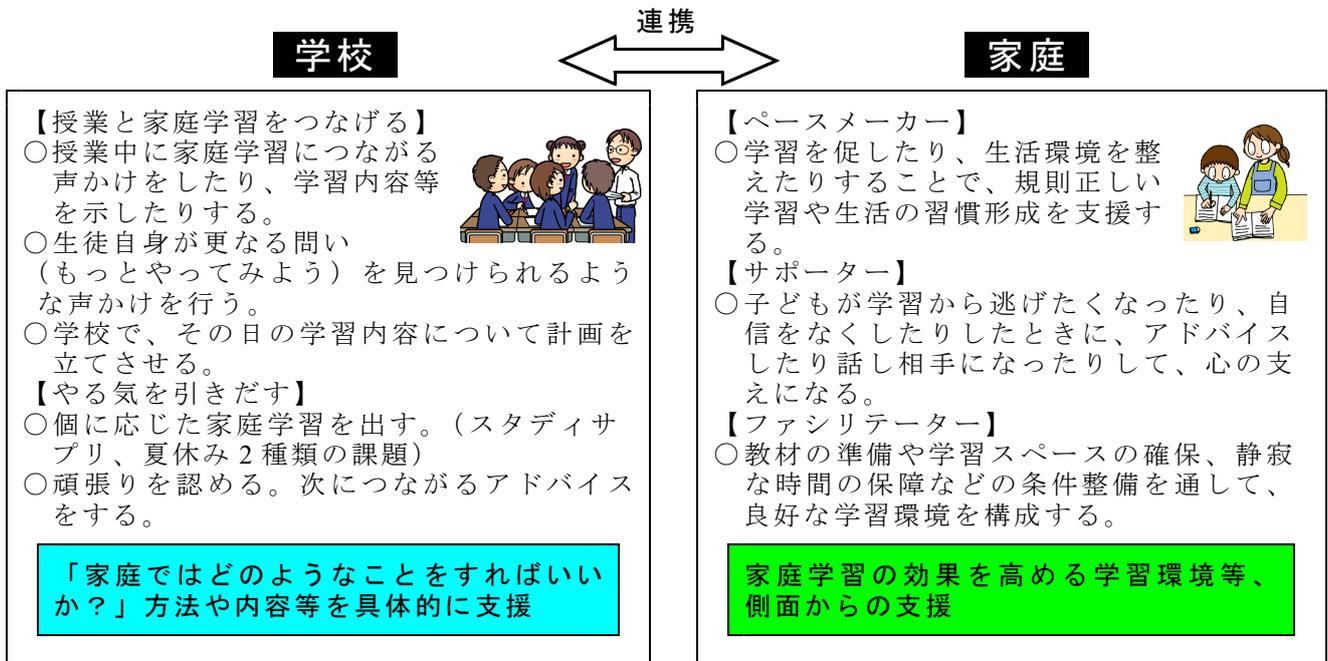
八代管内では、これまで課題が大きかった3つの項目（①学習習慣の育成、②学級の規範意識、③学びの苦手な子供への支援）について、今年度、特に重点的に取り組むことが求められています。東陽中の子どもたちの調査結果は、次の通りです。

質問内容（三つの指標）	1年生	2年生	3年生
① 学校の授業以外で、週に何日くらい勉強していますか。	ほぼ毎日と回答した生徒の割合 14.3 ▼	22.2 ▼	42.9 ≍
② クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか。	良好でないと回答した生徒の割合 28.6 △	55.6 ▼	21.4 △
③ あなたは、学校生活の中で何回ぐらい、自分の意見を発表したり、先生の質問に答えたりしていますか。	当てはまると回答した生徒の割合 64.3 △	66.7 △	64.3 △

※全国に対し、「プラスを△、マイナスを▼」で表示

“1・2年生の学習習慣（家庭学習）”および“2年生の規範意識”が課題です。夢を実現するための礎となる「確かな学力」の育成に向け、**学習習慣の育成と安心と信頼にあふれ、高め合う学級づくり**に、さらに力を入れていきたいと思えます。

学習習慣の育成に向けては、以下のようにご家庭での支援をいただきながら取り組んでいきます。（今日の学年・学級懇談会でも、話題にさせていただきます。）ご家庭での支援についても、話題にしていだければ幸いです。



引用：「熊本の学び推進プラン」
家庭学習のポイント（学校編）
熊本県教育委員会



引用：「家庭学習を習慣化することで育つ
自己マネジメント力を生涯の宝に」
田中博之 早稲田大教職大学院教授
VIEW21 小学版 2013 Vol.3

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）